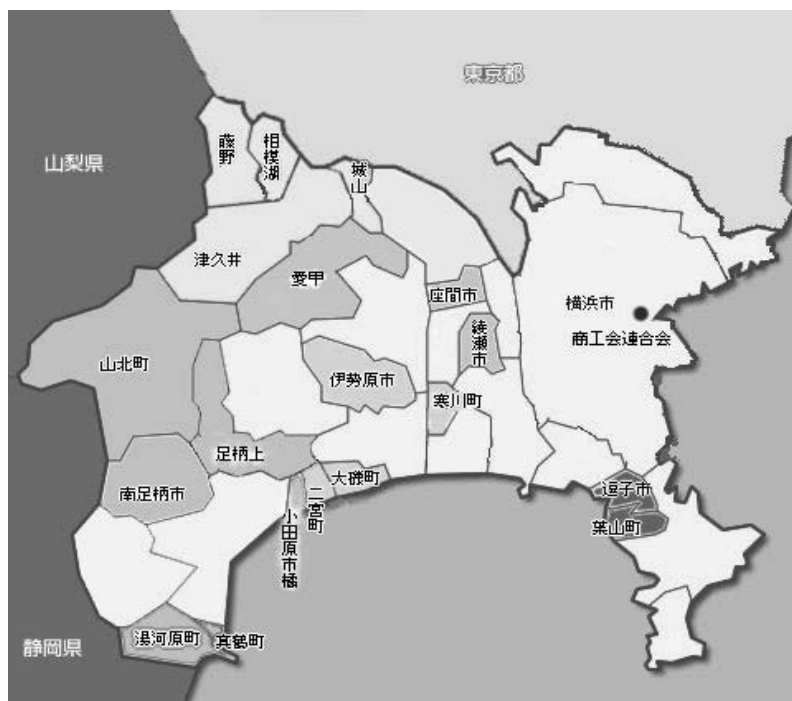


神奈川県 商工会地区

中小企業景況調査報告書

—令和8年4月～6月期 実績—
—令和8年7月～9月期 見通し—



神奈川県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査(令和8年4月～6月期)

◇調査概要

1. 調査目的

商工会地区内の地域産業の状況、経済動向等について一定期間ごとに変化の実態や諸事情を把握し、経営改善普及事業の効果的实施を図る。

2. 調査対象

(1)対象地区 10商工会地区
(逗子市・大磯町・二宮町・小田原市橘・湯河原町・綾瀬市・愛甲・南足柄市・城山・津久井)

(2)対象企業数 150企業

(3)回答企業数 150企業(回答率100.0%)

3. 調査対象期間

令和8年4月～6月期(調査時点 令和8年6月1日)

4. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区の決定は、商工会地区市町村の人口規模別実態を勘案し、調査対象企業の抽出は、業種、規模等有意選出法による。

5. 対象地区別回答企業数内訳

商工会名	製造業	建設業	小売業	サービス業	調査企業数
逗子市商工会	3	3	4	5	15
大磯町商工会	3	2	4	6	15
二宮町商工会	3	2	4	6	15
小田原市橘商工会	4	4	4	3	15
湯河原町商工会	3	2	4	6	15
綾瀬市商工会	4	2	4	5	15
愛甲商工会	3	2	4	6	15
南足柄市商工会	3	1	6	5	15
城山商工会	3	2	4	6	15
津久井商工会	3	2	4	6	15
合 計	32	22	42	54	150

6. DIとは

本報告書の中で一部数字に用いた「DI」指数とは、デフュージョンインデックス(景気動向指数)の略で、企業経営者の景気見通しを表す指標として利用されている。

増加(上昇、好転、長期化)と減少(低下、悪化、短期化)の企業割合の差を示す。

DIがプラス(+)なら……強気(楽観)

DIがマイナス(-)なら……弱気(悲観)

(例)売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合のDI指数

DI指数・・・50%－20%＝30%

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

◇業種別（中分類）企業構成

(1)製造業

業種内訳	企業数	構成比
食料品製造業	9	28.1%
飲料・飼料・たばこ製造業	0	0.0%
繊維工業	1	3.1%
衣服・その他繊維製品製造業	1	3.1%
木材・木製品製造業	2	6.3%
家具・装備品製造業	1	3.1%
パルプ・紙・紙加工品製造業	2	6.3%
印刷・同関連業	2	6.3%
化学工業	1	3.1%
プラスチック製品製造業	1	3.1%
窯業・土石製品製造業	1	3.1%
金属製品製造業	4	12.5%
一般機械器具製造業	1	3.1%
電気機械器具製造業	1	3.1%
輸送用機械器具製造業	2	6.3%
精密機械器具製造業	0	0.0%
その他製造業	3	9.4%
合 計	32	100.0%

(2)建設業

業種内訳	企業数	構成比
総合工事業	11	50.0%
職別工事業	7	31.8%
設備工事業	4	18.2%
合 計	22	100.0%

(3)小売業

業種内訳	企業数	構成比
各種商品小売業	3	7.1%
織物・衣服・身の回り品小売業	5	11.9%
飲食料品小売業	23	54.8%
自動車・自転車小売業	2	4.8%
家具・建具・じゅう器小売業	0	0.0%
その他小売業	9	21.4%
合 計	42	100.0%

(4)サービス業

業種内訳	企業数	構成比
一般飲食店（一般・遊興）	20	37.0%
宿泊業	0	0.0%
運送業	0	0.0%
自動車整備業	4	7.4%
洗濯・理美容業	19	35.2%
その他のサービス業	11	20.4%
合 計	54	100.0%

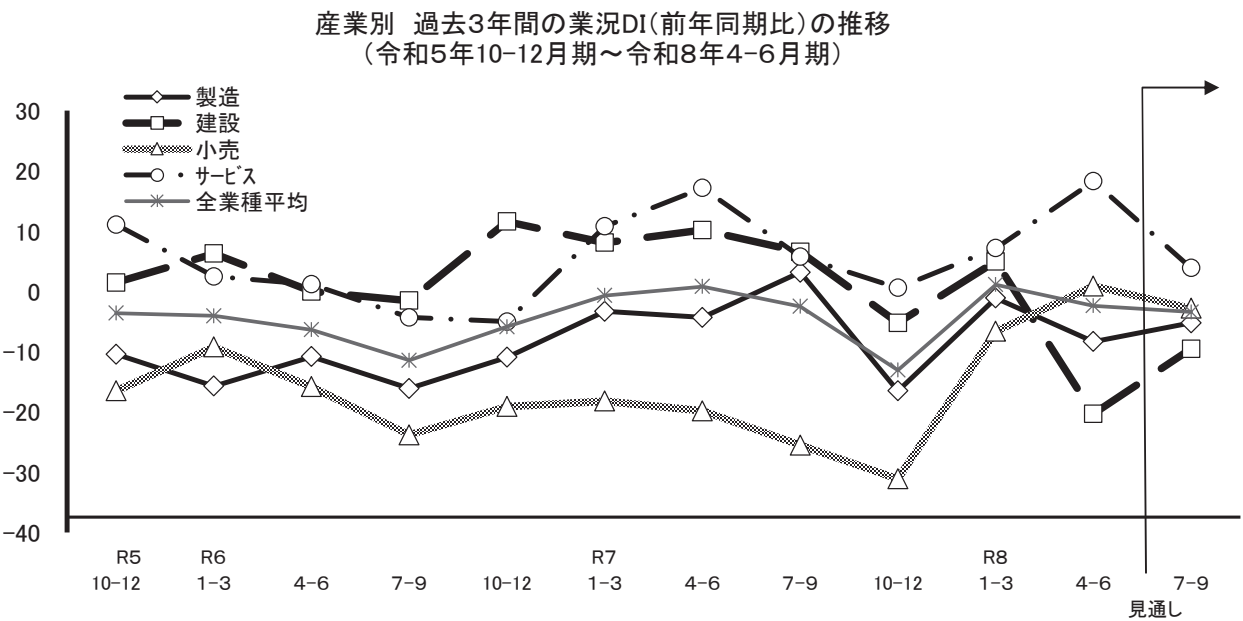
◇産業全体の景況概要

◇…中東情勢の緊迫化の影響により、先行きへの不安感が高まる小規模企業景況…◇

神奈川県における各産業別の前年同期と比べた業況DIの推移は、【産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移】に示すとおりである。

【業種別景況天気図】をみると、令和8年4-6月期は業種間で回復度合いに明暗が分かれた。業況判断DIは、小売業は7.5 pt、サービス業が11 pt超 の大幅な改善となった。一方、製造業はマイナス7.2pt、建設業がマイナス25.3ptと大幅に悪化し、コロナ禍に匹敵する状況となった。全業種平均では、前期1.1ptからマイナス2.4ptとマイナス3.5ptの小幅な悪化となった。一部の業種では、SNSや、展示会、商談会への出展により新規顧客が増加し、売上が好転しているケースもみられる。

だが依然として課題となっている人件費の上昇や人手不足に加え、中東情勢による事業活動への影響として原材料や部材の仕入コスト上昇、仕入価格の激しい変動によって見積もりや契約に苦慮する状況もみられ、先行きを不安視する声が多く聞かれた。



業種別景況天気図

	製 造 業 32 企業		建 設 業 22 企業		小 売 業 42 企業		サービ ス 業 54 企業		全業種 平均
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI
R7/7-9	3.2		6.6		△ 25.5		5.8		△ 2.5
R7/10-12	△ 16.5		△ 5.2		△ 31.1		0.6		△ 13.1
R8/1-3	△ 1.1		5.0		△ 6.6		7.2		1.1
R8/4-6	△ 8.3		△ 20.3		0.9		18.3		△ 2.4
R8/7-9 (見通し)	△ 5.2		△ 9.5		△ 2.8		3.9		△ 3.4

DI: 30.1～.....

DI: 10.1～30.0.....

DI: 10.0～△10.0...

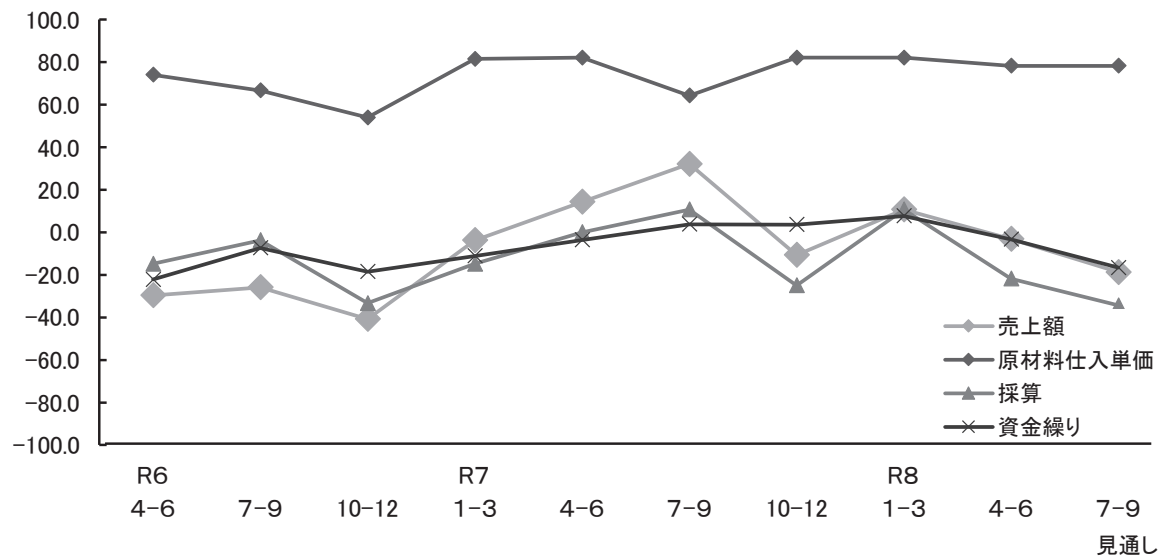
DI: △10.1～△30.0

DI: △30.1～.....

◇業種別景況概

I 製造業

主要景況項目の推移－前年同期比－

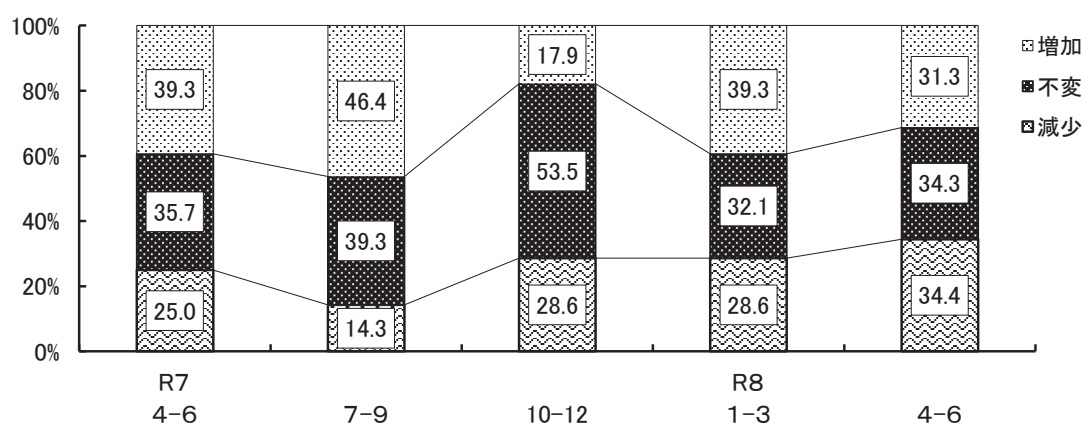


主要項目の天気図

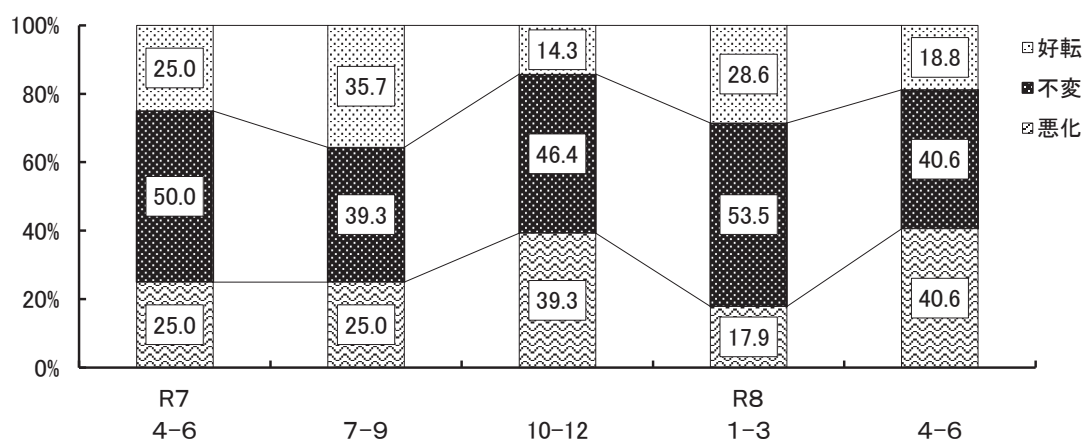
	売 上 額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/7-9	32.1		10.7		3.8		3.2	
R7/10-12	△ 10.7		△ 25.0		3.6		△ 16.5	
R8/1-3	10.7		10.7		7.7		△ 1.1	
R8/4-6	△ 3.1		△ 21.8		△ 3.3		△ 8.3	
R8/7-9 (見通し)	△ 18.7		△ 34.4		△ 16.6		△ 5.2	

DI: 30.1～.....
 DI: 10.1～30.0.....
 DI: 10.0～△10.0...
 DI: △10.1～△30.0...
 DI: △30.1～.....

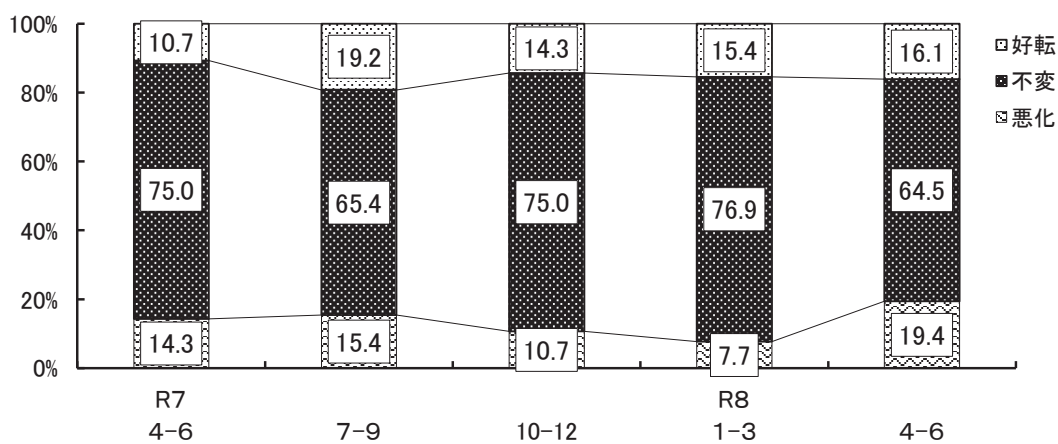
① 売上額の状況－前年同期比－



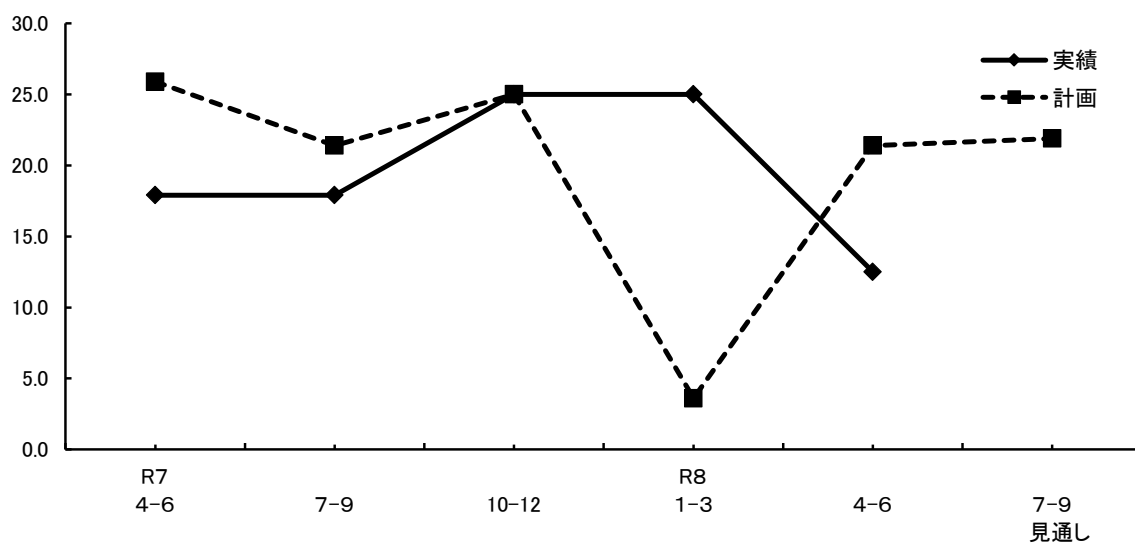
② 採算の状況－前年同期比－



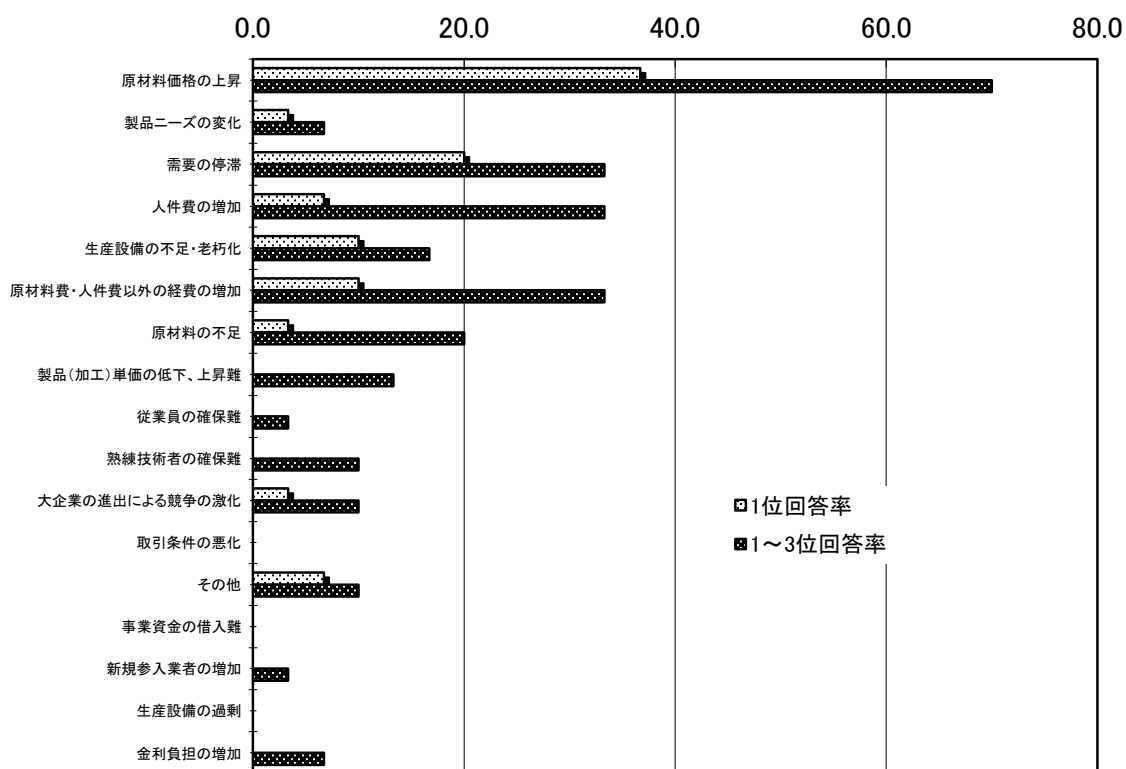
③ 資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

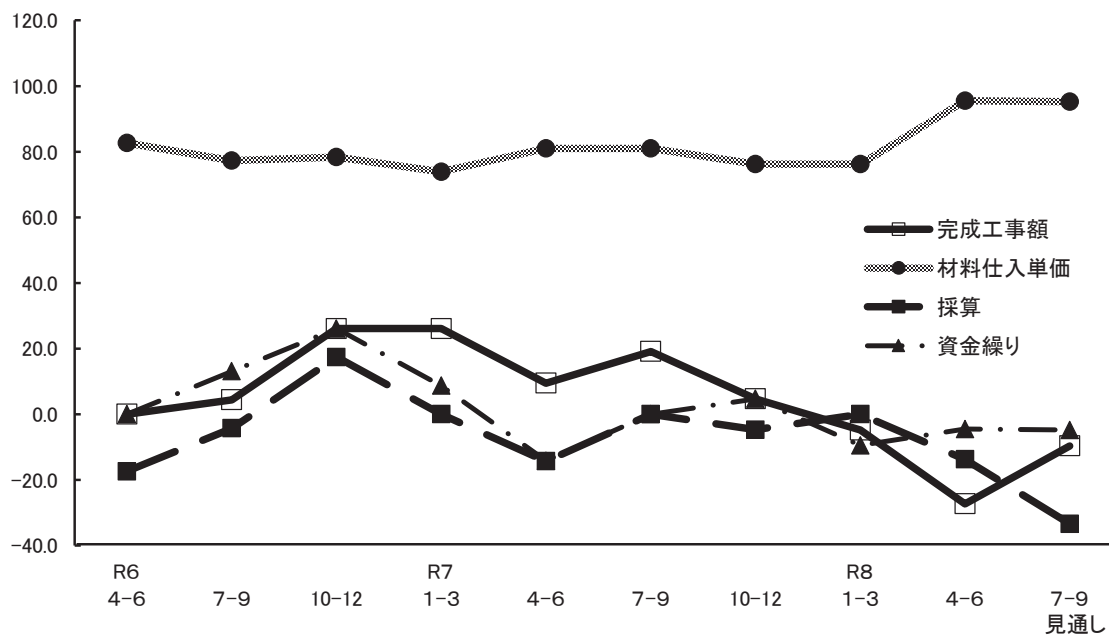


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



Ⅱ 建設業

主要景況項目の推移－前年同期比－

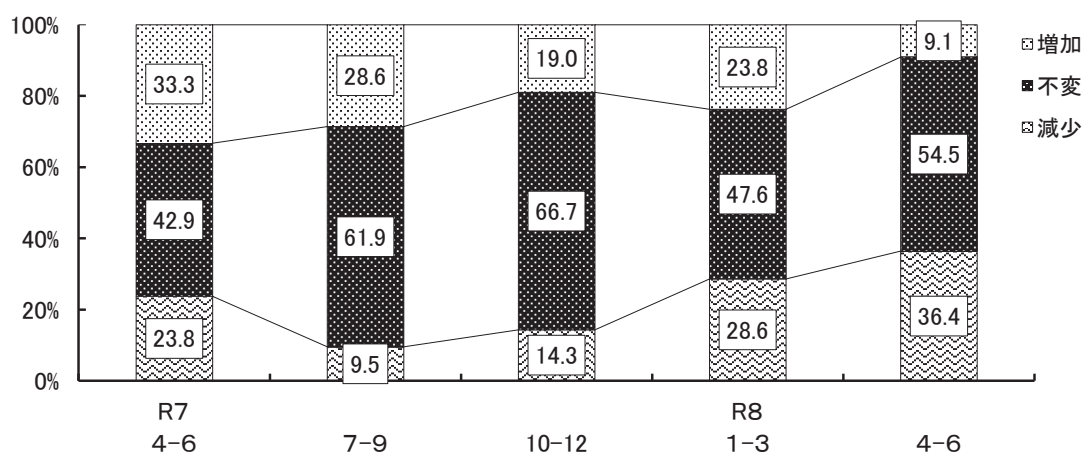


主要項目の天気図

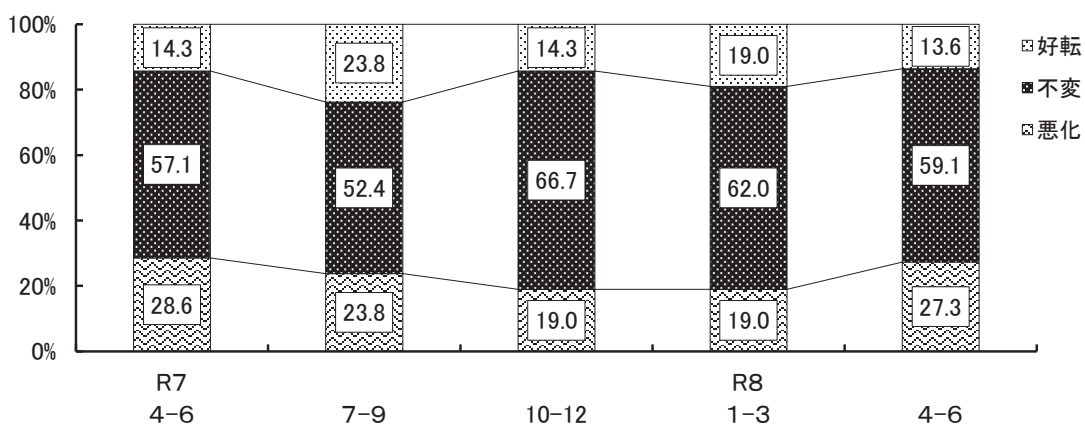
	完成工事額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/7-9	19.1		0.0		0.0		6.6	
R7/10-12	4.7		△ 4.7		4.7		△ 5.2	
R8/1-3	△ 4.8		0.0		△ 9.5		5.0	
R8/4-6	△ 27.3		△ 13.7		△ 4.5		△ 20.3	
R8/7-9 (見通し)	△ 9.6		△ 33.4		△ 4.8		△ 9.5	

DI: 30.1～.....
 DI: 10.1～30.0.....
 DI: 10.0～△10.0...
 DI: △10.1～△30.0...
 DI: △30.1～.....

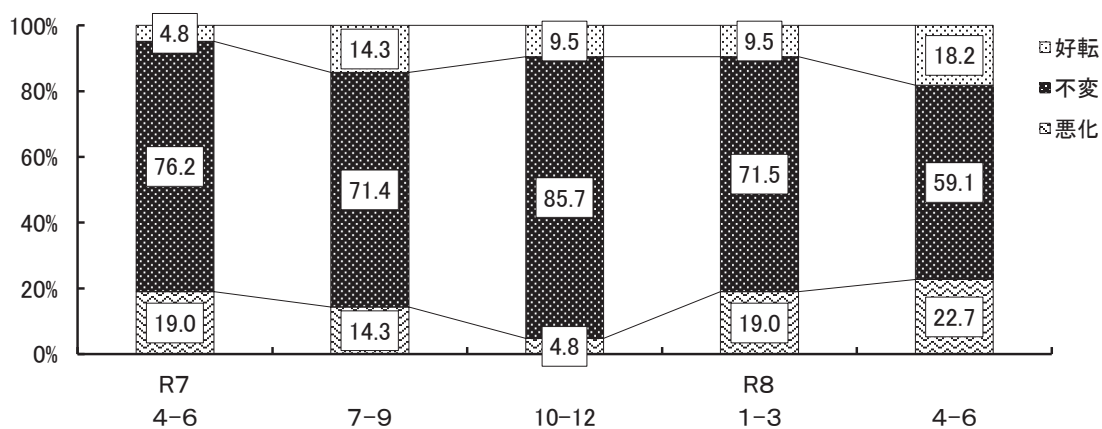
①完成工事額の状況－前年同期比－



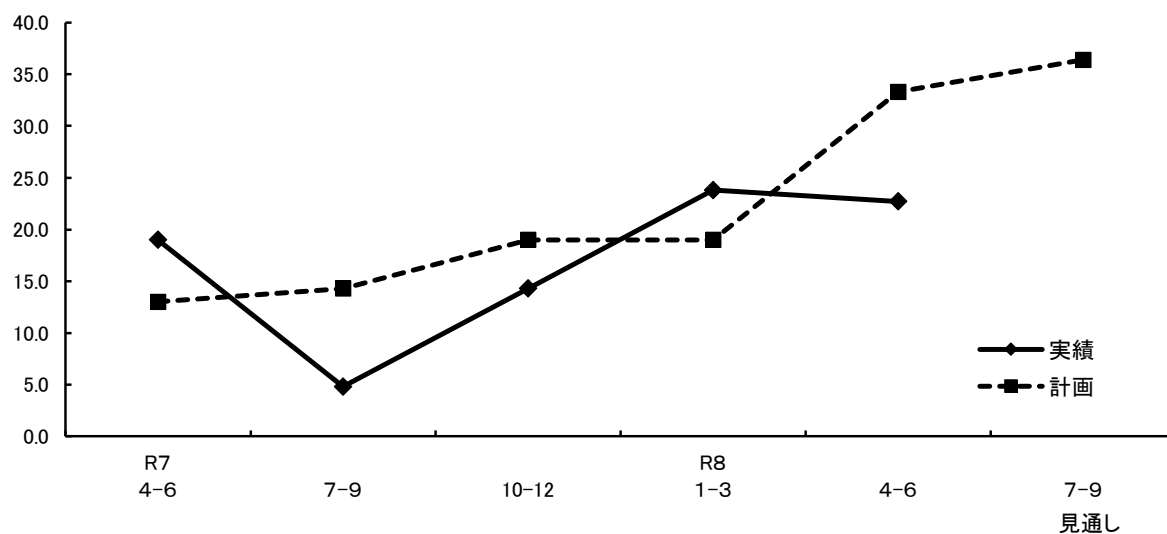
②採算の状況－前年同期比－



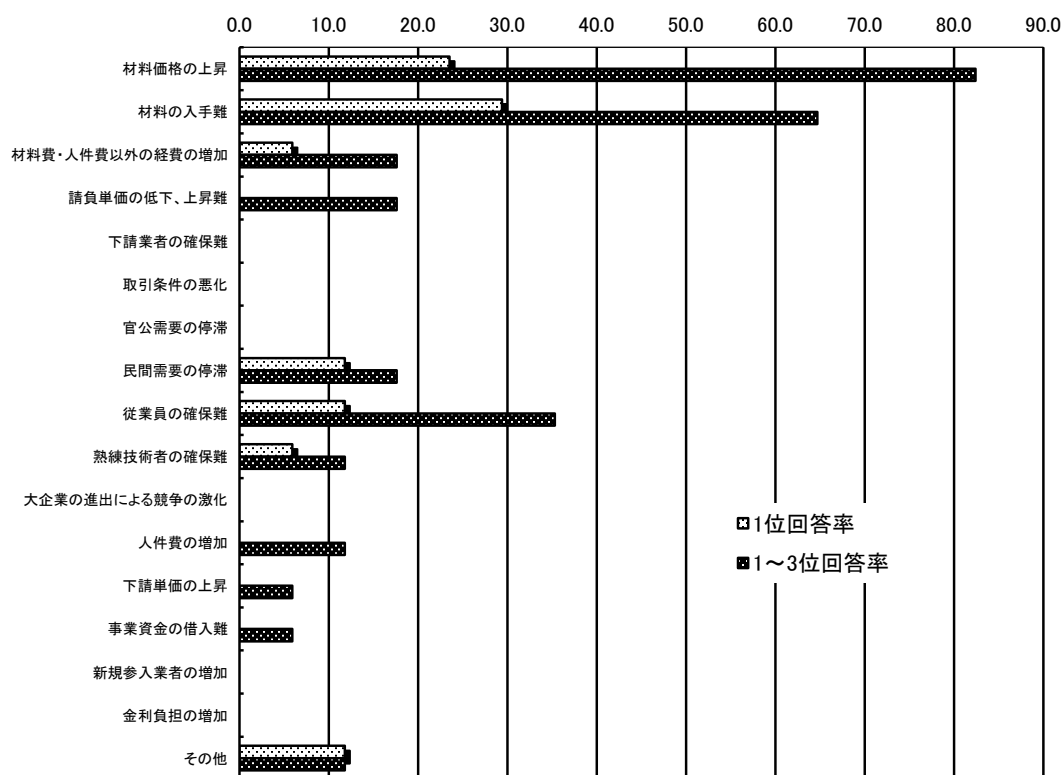
③ 資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

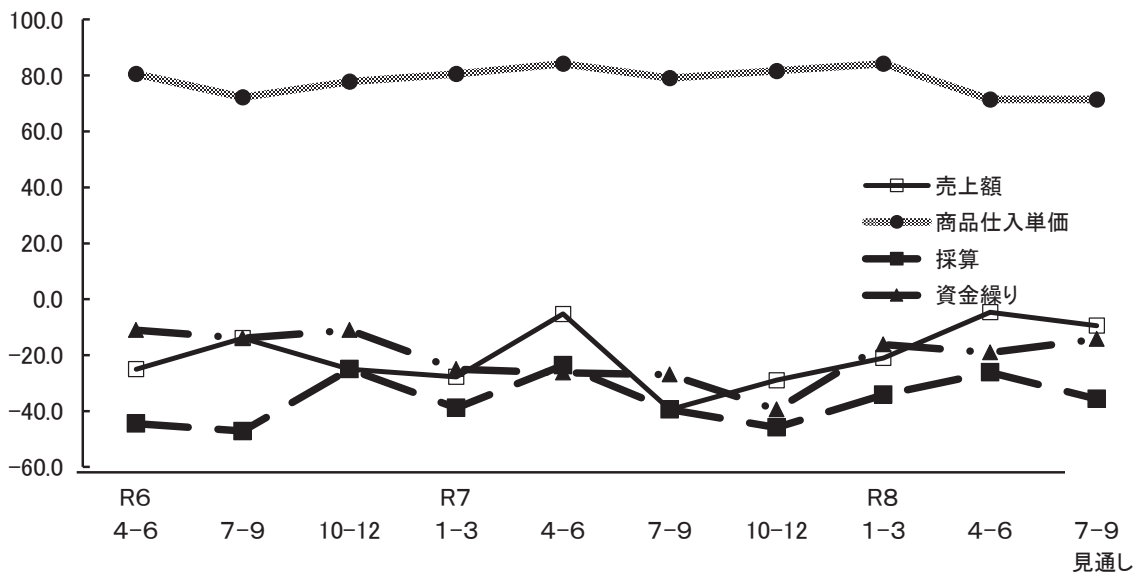


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



Ⅲ小売業

主要景況項目の推移－前年同期比－

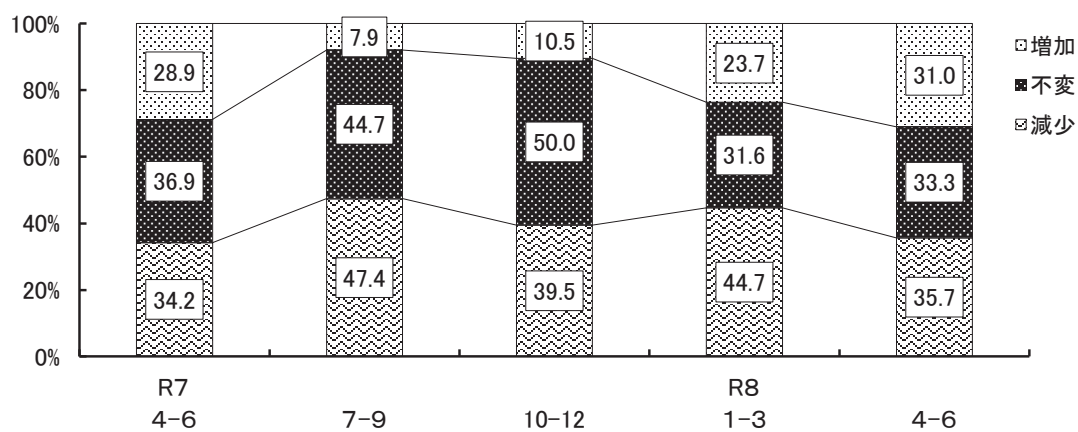


主要項目の天気図

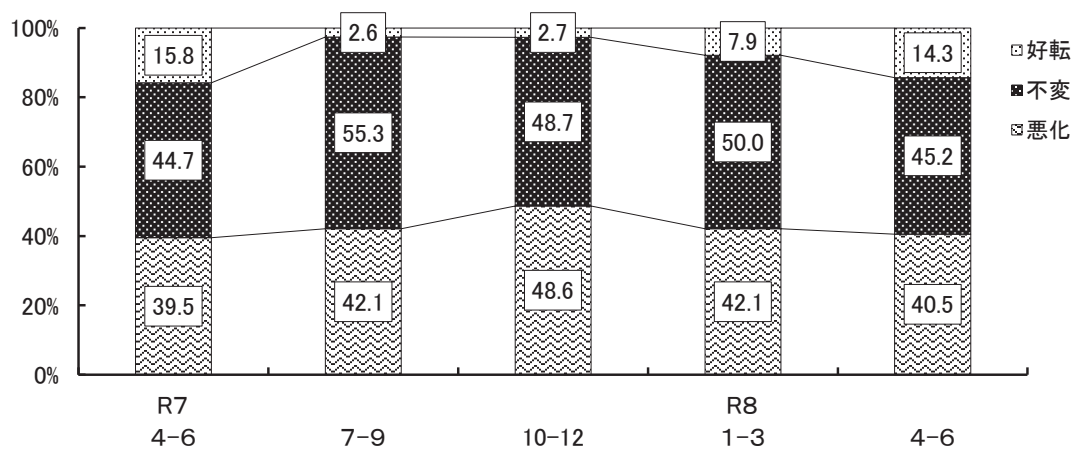
	売上額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/7-9	△ 39.5		△ 39.5		△ 27.0		△ 25.5	
R7/10-12	△ 29.0		△ 45.9		△ 39.5		△ 31.1	
R8/1-3	△ 21.0		△ 34.2		△ 16.2		△ 6.6	
R8/4-6	△ 4.7		△ 26.2		△ 19.1		0.9	
R8/7-9 (見通し)	△ 9.5		△ 35.7		△ 14.3		△ 2.8	

DI: 30.1～.....
 DI: 10.1～30.0.....
 DI: 10.0～△10.0...
 DI: △10.1～△30.0
 DI: △30.1～.....

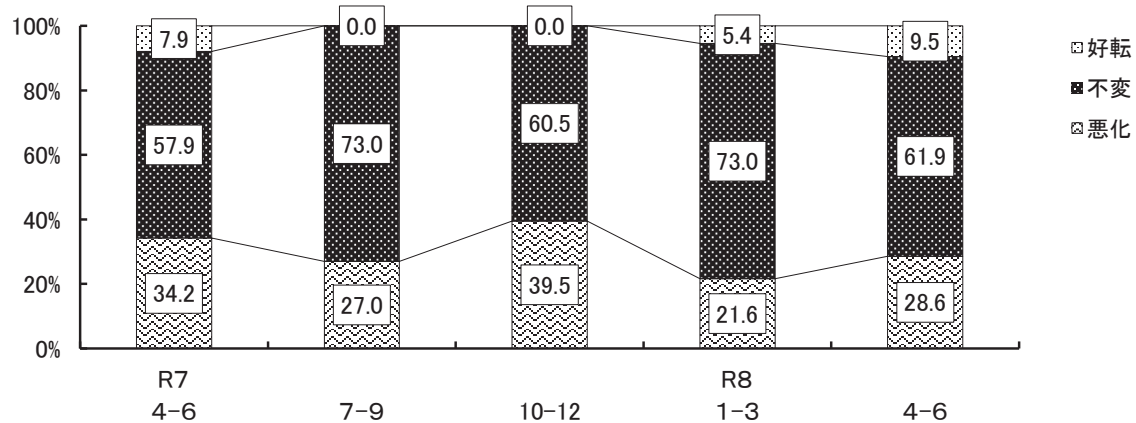
①売上額の状況－前年同期比－



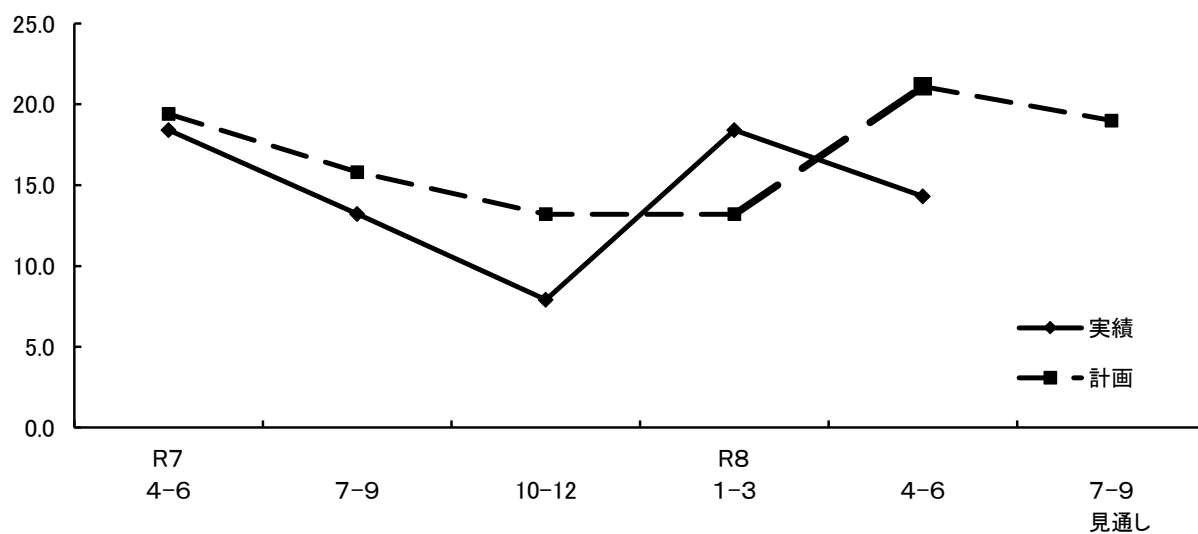
②採算の状況－前年同期比－



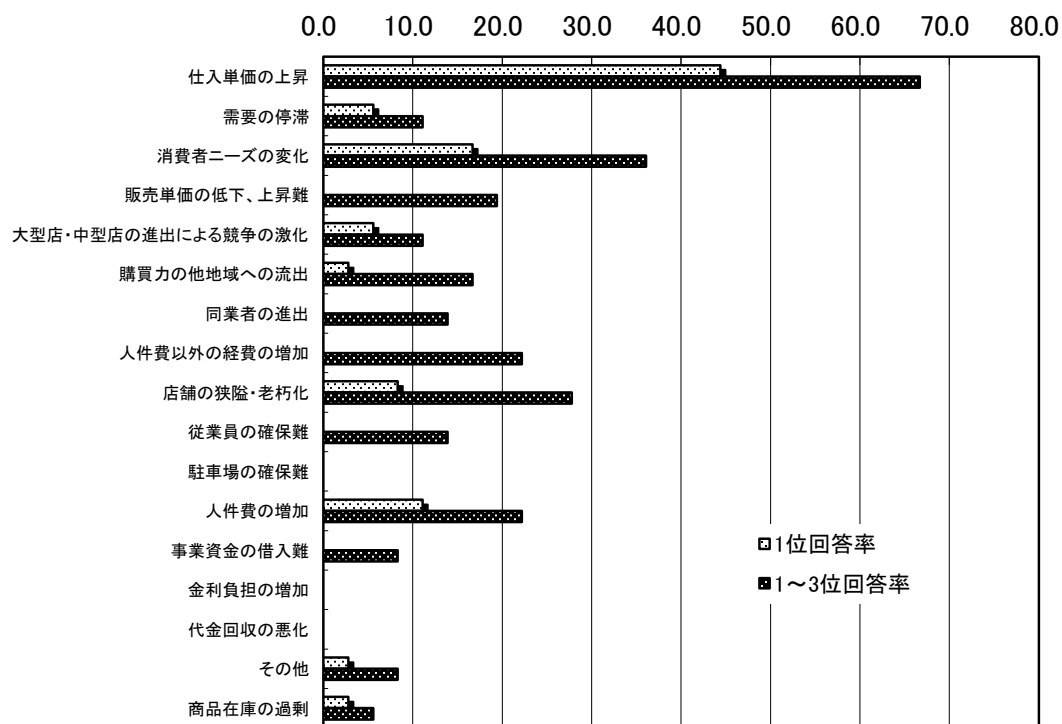
③資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

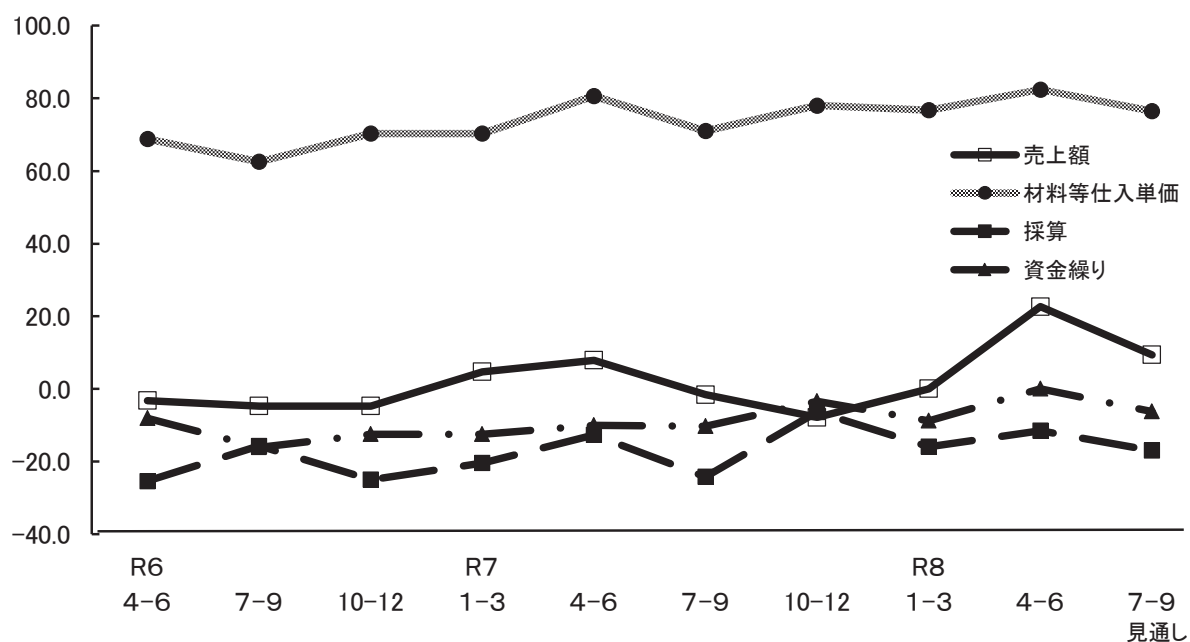


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



IVサービス業

主要景況項目の推移－前年同期比－

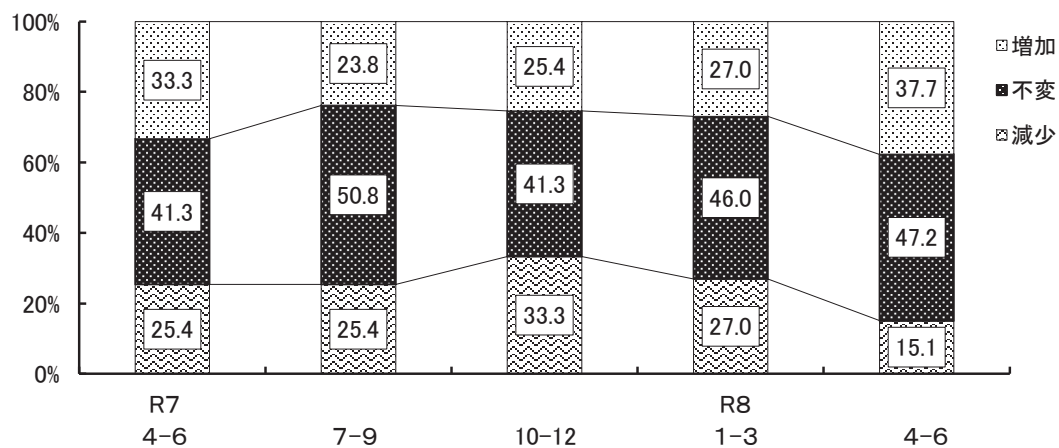


主要項目の天気図

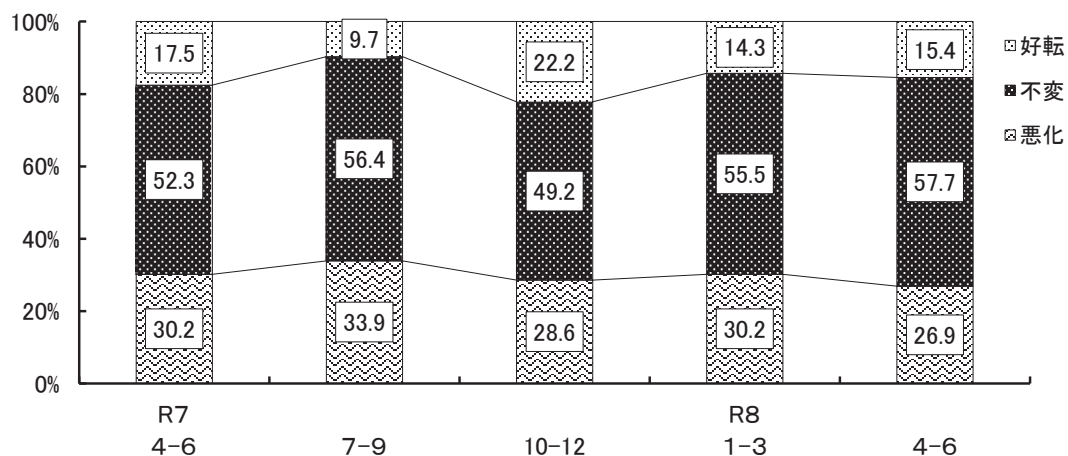
	売上額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R7/7-9	△ 1.6		△ 24.2		△ 10.3		5.8	
R7/10-12	△ 7.9		△ 6.4		△ 3.4		0.6	
R8/1-3	0.0		△ 15.9		△ 8.8		7.2	
R8/4-6	22.6		△ 11.5		0.0		18.3	
R8/7-9 (見通し)	9.4		△ 17.0		△ 6.2		3.9	

DI: 30.1～.....
 DI: 10.1～30.0.....
 DI: 10.0～△10.0...
 DI: △10.1～△30.0...
 DI: △30.1～.....

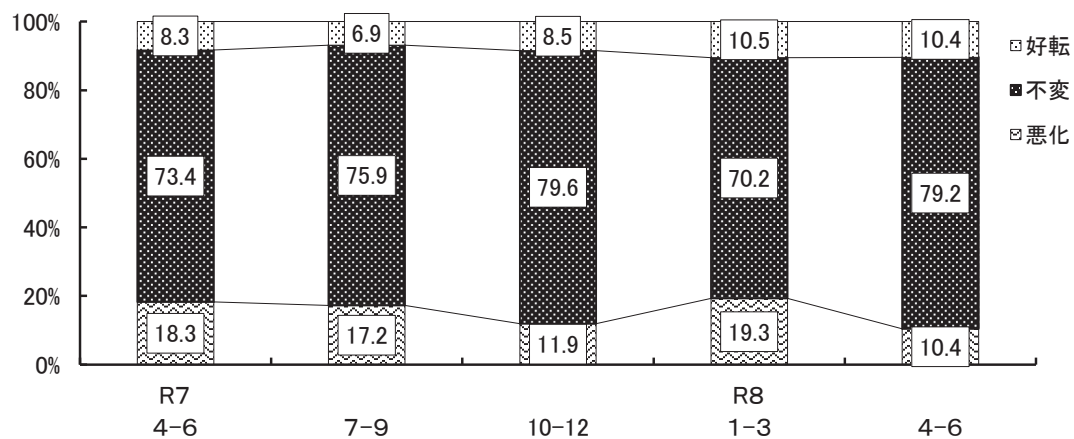
①売上額の状況－前年同期比－



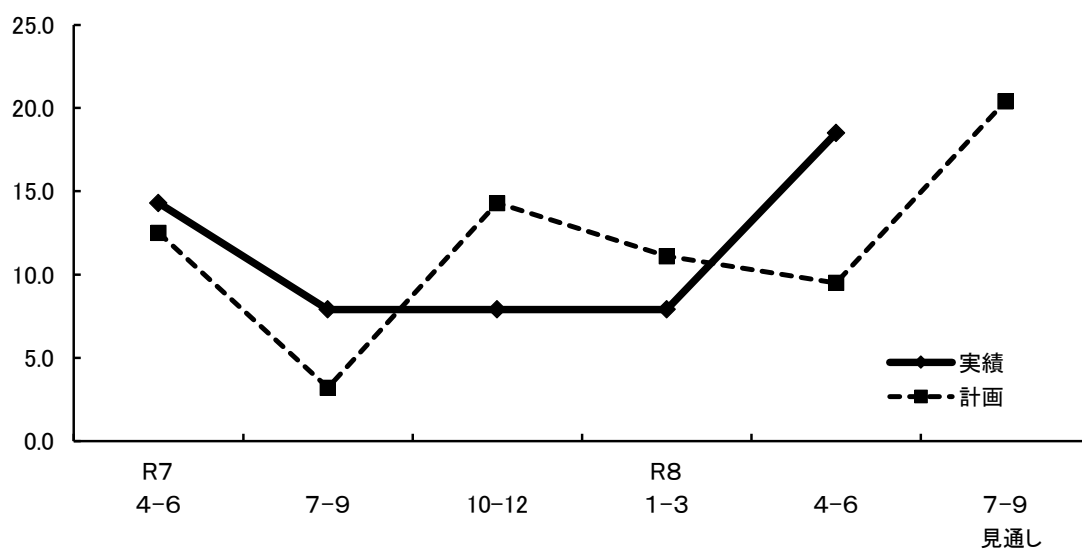
②採算の状況－前年同期比－



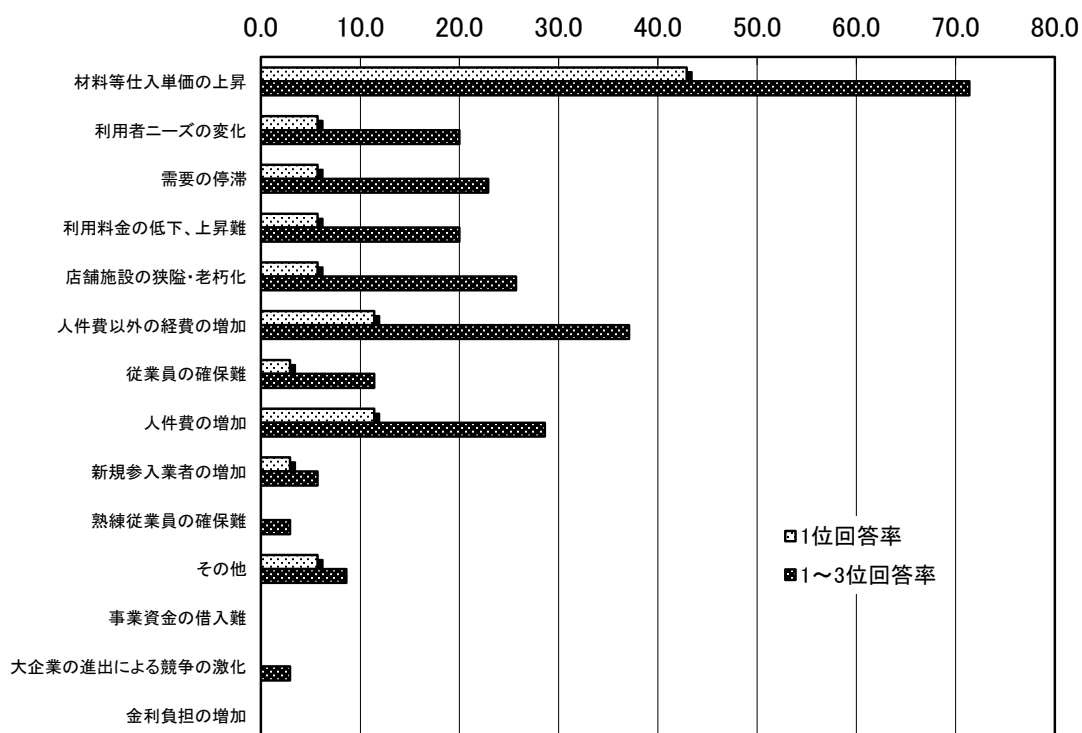
③資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況



⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



景況判断の背景

製造業

- ◇ ホルムズ海峡の問題で資材が入りにくく、新商品が出せない状態です。また資材高騰等がこれから営業利益を圧迫する可能性があります。(現状価格転嫁を考えておりません。売り上げが激減する可能性があるため)
【食料品製造業】
- ◇ 日本古来の醗酵(糀)にここ2年かけて本腰を入れて取り組んでおります。いろいろな場面で注目される様になり、私自身信念をもって引き続き取り組んで参ります。
【食料品製造業】
- ◇ 昨年10月より国内の一斉値上げによるお客様の買い控えが起きている。前年まで毎年売上15%~30%を保持してきましたが10月より10~20%の売上ダウン。打開すべくOEMに注力している。
【食料品製造業】
- ◇ 従業員を雇う余裕はないため、自身の時間が不足しており、需要はあるものの取りこぼしが多くなっている。
【木材・木製品製造業(家具を除く)】
- ◇ 今期は、材料費の上昇も落ち着いていたが、ここから値上げが始まるようなので、商品単価にのせ、お客様にどこまで受け入れてもらえるか心配です。
【食料品製造業】
- ◇ 仕入れ業者からの値上げの幅が大きすぎる。また、接着剤やテープ等、入手が困難になる商品も出始め、代替え品を探さなければならない。
【木材・木製品製造業(家具を除く)】
- ◇ 昨年同様の売上だが従業員数がかなり減り、人件費が減った分利益が随分出ています。ただ少しずつ雇用をしたいのですが、もう少し業況を見てからにする予定です。
【印刷・同関連業】
- ◇ 今期は得意先の大規模受注により繁忙期を迎え、その他の仕事をある程度断っている状態です。シンナー不足も、浮気せず頼っている業者に確保頂いており、これまでの関係性に助けられている期となっております。
【鉄鋼業】
- ◇ モノづくりの状況の悪さが長く続いていると思う。日本はモノづくりの国ではなくなるのではと危惧している。
【金属製品製造業】
- ◇ ナフサ由来の包材が高騰し、来期以降、採算がとれなくなる。
【食料品製造業】
- ◇ 仕事量が増え、品物が多くなり場所が足りない。石油関係で、いろいろ値上がり等して大変。
【金属製品製造業】
- ◇ 中東情勢に関連する影響を大きく受けています。脱プラスチックが加速し紙製資材が注目される一方、そもそも資材に入れる製品が生産調整となっており、受注が減っています。
【パルプ・紙・紙加工品製造業】
- ◇ 工具や油などの費用が上昇しており、加工単価があがっているが、価格転嫁が困難な状況。
【生産用機械器具製造業】
- ◇ 取引先が一社閉業する事になり売り上げが半分になった。今の事業内容では全くモチベーションが上がらない。経営していても良い兆しが見えない。
【窯業・土石製品製造業】
- ◇ 需要の停滞により業況は悪化している。
【繊維工業】
- ◇ ホームページから仕事の依頼が入る事が増えたため、ホームページ関係の充実を図る必要がある。
【その他の製造業】

建設業

- ◇ 中東情勢の影響で先行き不安。
【職別工事業(設備工事業を除く)】
- ◇ 中東情勢による資材の入手難。価格上昇がいつまで続くのか不安。
【総合工事業】
- ◇ 売上が変わらなくても経費は上がっているため、利益の部分で先行きに不安を感じる。
【総合工事業】
- ◇ 中東情勢の影響が強い。

【総合工事業】

- ◇ 材料がなく、更に価格上昇は非常に厳しい。顧客へ見積を発行しても工事費が高く受注できない。先行きが非常に不安定。

【職別工事業(設備工事業を除く)】

- ◇ 受注工事は沢山あるが、人材不足でやりきれない現場は断っている状況。

【設備工事業】

- ◇ 年末頃から自社物件の受注や元請けからの請負が減少したのに加えナフサショックも重なったが、請負が少ない分ダメージはほとんどなかった。総じて新築の受注は大きく減少し、大手企業との取り合いになっている。

【総合工事業】

- ◇ 中東の石油問題で、新規工事を受注できても、完成に向けて材料が入荷してこないという情報があり、顧客との契約が履行できない。

【総合工事業】

- ◇ 中東情勢によるナフサ不足。

【職別工事業(設備工事業を除く)】

小売業

- ◇ 現在は資金繰り好調。値上げ前の受注と品切れになる前のお客様からの過度な発注を受けたことにより売り上げ増となった。

【各種商品小売業】

- ◇ 原料資材や経費上昇分を商品価格に反映させるのが難しく利益が減少。

【飲食料品小売業】

- ◇ 展示会や商談会の出展にて、新規先が増えた。「数は力」を最近よく感じる。雇用している従業員が弱すぎるため、これではこの先勝てない。若返りも含め、今期より清算していく予定。今期は、採用、教育に力を入れる。

【飲食料品小売業】

- ◇ 新規商品発掘に使える時間がなく、外注化が急務。

【無店舗小売業】

- ◇ 物価高、原油高の影響や、円安の影響をもろに受けている。

【飲食料品小売業】

- ◇ 原油不足の影響から部品、オイル等の供給難と、景気悪化に伴う消費減が考えられる。

【機械器具小売業】

- ◇ 今まで通りではなく、新しい販売商品や販路の開拓など、変化が必要。

【その他の小売業】

- ◇ 今現在、中東情勢による材料等の大きすぎる値上がりにより大変不安を感じている。

【飲食料品小売業】

- ◇ 需要停滞、同業進出、仕入単価上昇、その他種々の問題に対応していかないといけない。

【その他の小売業】

- ◇ 鹿児島県産の手頃な価格の茶葉が入って来ません。「お茶の詰め放題」のイベントができず売れ筋のお茶は入荷がありません。

【飲食料品小売業】

- ◇ 仕入れ額の上昇で思いの他利益が確保出来ず、売り上げが平行線で必要経費の圧迫を感じています。

【飲食料品小売業】

- ◇ 商品の品揃えが年配の女性向けが主で年々客数が減少している。学生用品制服、体操服等も主力商品だが、生徒数が同じくかなり減っていて総体的に客数が激減している。

【織物・衣服・身の回り品小売業】

- ◇ 取り扱っている米、灯油の価格の高騰により、仕入単価が上昇した。しかし、上昇を販売価格に従来通りに反映することが出来ず、利益率は低下している。

【飲食料品小売業】

- ◇ 客の購入単価の減少・来店人数の減少

【織物・衣服・身の回り品小売業】

- ◇ 戦争で行先が見えず、不安しかない。

【各種商品小売業】

- ◇ 仕入単価が上がり続けているため業況は悪化している。

【その他の小売業】

- ◇ SNSの更新によってリピート客が増加している。顧客管理が紙ベースとなっているため、電子ベースにすることで顧客の誕生日などに特別な案内を出せるように情報を管理し、更にリピート率を上げていく

【その他の小売業】

- ◇ 客数が増えていることによって業況としてはそこまで悪くはないが、仕入れ単価がこれ以上上がると厳しい。また建物の老朽化も改修したいところだが、相当な費用がかかることが予想される。

【飲食料品小売業】

- ◇ お客様あつての物販。物価高などからくる購入控えや低価格品へのスライドが続く。消費税と社会保険の負担が重くのしかかる。

【機械器具小売業】

- ◇ 消費者の節約志向、コスト増、利益確保難が深刻な状況下、今後の経営は厳しいと見込んでいる。

【各種商品小売業】

- ◇ 世代交代。とりわけ、事業承継を視野に入れた自社の将来像に関する価値観の共有に難航。

【飲食料品小売業】

- ◇ 売上が減少している中、直売所の充実や壁・トイレ補修工事により施設の充実を図りたい。当社の販路課題はネット販売の充実と畑で収穫した野菜や果実の卸売先を開拓すること。

【飲食料品小売業】

サービス業

- ◇ 数年は、現状のスタイルで問題ないが、リユース・買取りを強化していく必要がある。

【その他の生活関連サービス業】

- ◇ 原価が上がってきている中、中東情勢の波が来そう、読めない。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ 短期スパンの仕入単価上昇で価格転嫁できず利益が減少傾向。打開策を模索しているが、家族経営の個人事業は労務的な支援金は合致せず、国や県の補助金申請は年齢的にハードルが高い。経営は厳しくなるばかりです。

【飲食店】

- ◇ 材料の仕入単価はコロナ以降ずっと上がっている。削減の努力や売上増の努力はしているが限界も感じている。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ オイル類、塗料など品物が仕入れ困難で価格上昇しているおり、先行き不安。

【自動車整備業】

- ◇ 高齢者のお客様が多いため、コロナ以降お客様の変化が大きい。物価高など影響が大きい。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ 仕入れ値の価格上昇のため薄利で大変。ビニール製品の不足で今後不安になります。

【飲食店】

- ◇ 体力を必要とする仕事なので自身の年齢とともに縮小していくしかない。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ 居酒屋経営なのである程度娯楽要素が強い飲食業なのだが、食事利用に変わり利益がでにくい状況にある。客単価が下がり、値上げもしづらい業種であるので厳しい営業が続いている。

【飲食店】

- ◇ AIとのつきあいにより、業況は好転している。

【専門サービス業(他に分類されないもの)】

- ◇ 物価高の影響により、仕上がり・品質より価格を優先して選択する購買傾向が強まり、単価が低下している。材料の仕入れは不安定で、値上げが続いている。

【自動車整備業】

- ◇ こまめな修繕を地元業者をお願いしていたが、この度のナフサの影響で修繕工事の金額が上昇している。値上げ前に行いたいが、資金繰りを考えると難しい。

【飲食店】

- ◇ インターネットの口コミで若い客が増えています。世代交代の時期が近づいています。

【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ 利用者数が増加し売上も微増しているが、材料光熱費等の増加分を直ちに販価に転嫁できない為、業況はあまり変わらない。

【飲食店】

- ◇ 仕入コストの上昇。人件費のアップなど掛る費用により、売上が努力において維持出来ていても利益がない。役員経営者の報酬確保難。

【飲食店】

- ◇ 子供の減少(少子高齢化)、対面だけでなくオンライン授業の導入を検討していく必要がある。

【その他の教育、学習支援業】

